

基準 8 施設・設備

(1) 観点ごとの分析

観点 8-1-①： 大学において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。

【観点到に係る状況】

本学は、本庄と鍋島の2キャンパスからなり、校地面積は434,128 m²、校舎面積は152,842 m²、附属病院面積は40,418 m²となっている。校舎には、講義室、演習室、実験・実習室、マルチメディア語学演習のためのLM教室、自習スペース、学生用ラウンジ及び研究室を設置し、活用している(別添資料 8-1-①-1)。また、共通利用の施設として、附属図書館、総合情報基盤センター、保健管理センター、運動施設、課外活動施設、大学会館、食堂施設、宿泊施設等を設置している(別添資料 8-1-①-2)。体育館等の運動施設は、学生数に対して授業を実施する上で十分な設備を整備し、課外活動にも活用している(別添資料 8-1-①-3)。これらの施設設備は、施設マネジメント委員会(参照資料 8-1-①-ア)を中心とした施設マネジメント推進体制により、整備計画を策定し、床の改修や防音サッシの設置、講義室の空調設備を増設するなどの整備を進めている(別添資料 8-1-①-4)。また、耐震化については、校舎等の改修工事に併せて進めており、これまで、対象建物(72,250 m²)の約61%が完了している(別添資料 8-1-①-5)。

バリアフリー化については、「キャンパス・ユニバーサルデザイン計画」(資料 8-1-①-A)に基づき、バリア調査図を策定し、スロープや手すりの設置、扉の改修、トイレの身障者対応化、駐車場や講義室での身障者用スペースの確保等、施設のバリアフリー化を計画的に整備している(別添資料 8-1-①-6)。

資料 8-1-①-A： キャンパス・ユニバーサルデザイン計画

佐賀大学キャンパス・ユニバーサルデザイン計画

佐賀大学のユニバーサルデザイン計画では、「ユニバーサルデザイン」を理想としつつ、「バリアフリー」の観点で実績を積み上げていこうとするものです。バリアフリーとは、障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁(バリア)となるものを除去すること、ユニバーサルデザインとは、製品・建物・環境等について、あらゆる人々に利用できるよう、はじめから考慮してデザインすることです。

佐賀大学キャンパスのユニバーサルマップについて

屋外から、建物への動線についてのユニバーサルマップを下記の事項に留意して作成します。

1. 外部から建物に出入りしやすい建物配置
2. 建物間の移動が容易な建物配置
3. 安全で移動しやすい敷地内道路および避難経路を確保
4. 利用しやすい駐車場

佐賀大学ユニバーサルマップの表示記号について

各表示記号については、佐賀市ユニバーサルマップおよび JIS Z 8210 (案内用図記号) に準拠しています。

ユニバーサルデザインの基本的な考え方

障がい、年齢、性別、言語等、利用者が持つそれぞれの能力の違いを越えて、全ての人が利用しやすくなることを前提とした概念です。

ユニバーサルデザイン7原則

1. 誰でもが自由に利用できること
2. 使う上で自由度が高いこと
3. 使い方が簡単ですぐわかること
4. 利用者の感覚能力に関係なく必要な情報が伝わるようにする
5. うっかりミスが危険につながらないこと

6. 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
7. アクセスしやすいスペースを確保すること

(出典：佐賀大学キャンパス・ユニバーサルデザイン計画)

別添資料 8-1-①-1：講義室等利用状況一覧
 別添資料 8-1-①-2：構内配置図
 別添資料 8-1-①-3：運動施設等利用状況一覧
 別添資料 8-1-①-4：施設整備状況一覧（平成 18～20 年度）
 別添資料 8-1-①-5：耐震化推進状況図
 別添資料 8-1-①-6：ユニバーサルマップ ～安心・安全バリアフリー～

参照資料 8-1-①-7：国立大学法人佐賀大学施設マネジメント委員会規則
 (<http://www.saga-u.ac.jp/houmu/kisoku/kanri/sisetu.pdf>)

【分析結果とその根拠理由】

本学の校地面積は基準面積 68,705 m²の約 7 倍，校舎面積は基準面積 61,540 m²の約 2 倍を有し，附属病院面積も基準面積 33,100 m²を上回っており，大学設置基準の規定を満たしている。上記のように，教育研究を遂行する上で必要な施設を設置し，施設・設備計画に沿って整備を進めており，これらの設置目的に沿って有効に活用している。また，キャンパス・ユニバーサルデザイン計画の方針に沿って，計画的に施設の改修整備を進めており，バリアフリー化への配慮がなされている。

観点 8-1-②： 大学において編成された教育課程の遂行に必要な ICT 環境が整備され，有効に活用されているか。

【観点到に係る状況】

総合情報基盤センターを置き（参照資料 8-1-②-ア），情報基幹ネットワークや教育・研究用の学術情報システム，大学データベース，電子図書館などの整備・維持，大学全体や地域の情報化支援等を行っており，機能的に管理・運用している（参照資料 8-1-②-イ）。具体的には，学内の各建物及びキャンパス間のネットワークシステムを構築し，ほぼ全ての教室・自習スペースに無線 LAN 局（約 300 機）及び情報コンセント（約 980 口）を設置し，本学独自開発の「Opengate」（ネットワーク利用認証システム）等を介して，学生・教職員がパーソナルコンピュータ（PC）をインターネット接続できる環境を提供している（資料 8-1-②-A）。また，全学的に学生用 PC を設置し（資料 8-1-②-B），情報処理教育，専門教育，履修登録，文献蔵書検索など，授業・自習に活用している（参照資料 8-1-②-ウ～エ）。附属図書館にも無線 LAN 局及び情報コンセントを設置し，学生・教職員が PC をインターネット接続できる環境を整備している（参照資料 8-1-②-オ）。総合情報基盤センターに設置された PC は，授業以外の時間帯には，学生の自主的な学習活動に利用でき，大学院生のセンター相談員を配置して利用支援を行っている。

e ラーニングを推進・支援する環境として，e ラーニングスタジオ（参照資料 8-1-②-カ）を設置し，ネット授業コンテンツの制作と配信を行うシステムを整備充実しており，合計 170 以上の e ラーニング科目・コースを提供するなど，有効に活用している。

セキュリティ管理は，教職員向け情報セキュリティ及び情報リテラシー講習会の実施や情報倫理自習教材のオ

オンライン提供等による啓発の取組とともにファイアウォールの設置・維持・監視、暗号化通信技術の導入、ユーザ認証の厳密化、学内外からの不正侵入への対策など、情報政策委員会(参照資料8-1-②-キ)が定めた情報セキュリティポリシーに基づき、必要なセキュリティ対策を講じている。

資料8-1-②-A: 情報ネットワークの活用状況

電子図書館	研究者基礎情報データベース、佐賀大学機関リポジトリ、博士論文データベース、貴重図書データベース、植物遺伝資源データベースなど各種データベースの利用
図書館ポータル	蔵書・雑誌検索、附属図書館施設予約、図書貸し出し予約、文献複写依頼などのサービス (http://www.lib.saga-u.ac.jp/recommend/portal.html)
教育用システム	情報リテラシー教育及び専門教育 Windows 環境と Linux 環境が利用可能
研究用システム	Solaris 環境で文書作成、情報収集や小規模数値計算が可能
教務システム	履修登録、成績確認・出力、シラバス参照、成績提出が Web で操作可能
就職システム	就職情報の提供、就職情報の交換が可能
医学部サブセンターシステム	医学文献、看護文献の検索
全般	インターネット接続、電子メール、電子ジャーナル閲覧

(出典：総合情報基盤センター資料、附属図書館ポータル)

資料8-1-②-B: PC配置状況及び利用時間

設置場所	PC台数	利用時間
総合情報基盤センター メインセンター	215	月・火・木・金 8:30~20:00, 水 8:30~13:00 16:00~20:00 土 9:00~17:00
総合情報基盤センター 医学サブセンター	110	月~金 9:00~19:00
文化教育学部 情報処理室	48	月~金 8:30~17:40
経済学部 情報演習室	40	月~金 8:30~17:15
理工学部 (※ 各学科総計)	811	月~金 8:30~20:00 (概ねの時間帯、学科ごとに異なる)
農学部 情報演習室	10	月~金 8:30~18:00
医学部 PBL室	16	毎日 8:00~24:00
附属図書館 本館 医学分館	55	月~金 9:00~20:00, 土・日 10:00~19:00 (休業期は別途設定)
	50	月~木 9:00~翌9:00, 金 9:00~翌10:30, 土・日 10:30~18:30 (休業期は別途設定)
キャリアセンター	10	月~金 8:30~18:00

(出典：事務局、各学部・センター資料)

参照資料8-1-②-ア：総合情報基盤センター業務案内 ウェブサイト (<http://www.cc.saga-u.ac.jp/outline/works.php>)
 参照資料8-1-②-イ：佐賀大学総合ネットワーク構成図 (<http://www.cc.saga-u.ac.jp/system/intro/network.pdf>)
 参照資料8-1-②-ウ：平成21年度情報処理演習室時間割 前期 (<http://www.cc.saga-u.ac.jp/plan/timetable/index.php>)
 参照資料8-1-②-エ：平成21年度情報処理演習室時間割 後期
 (<http://www.cc.saga-u.ac.jp/plan/timetable/index.php?year=21&term=2>)
 参照資料8-1-②-オ：附属図書館 利用者用PC ウェブサイト (<http://www.lib.saga-u.ac.jp/service/pc.html>)
 参照資料8-1-②-カ：eラーニングスタジオ ウェブサイト (<http://net.pd.saga-u.ac.jp/e-learning/el-studio/>)
 参照資料8-1-②-キ：国立大学法人佐賀大学情報政策委員会規則
 (<http://www.saga-u.ac.jp/houmu/kisoku/kanri/jyohoseisaku.pdf>)

【分析結果とその根拠理由】

情報ネットワークを全学に整備し、ほぼ全ての教室・自習スペースから、独自開発の「Opengate」（ネットワーク利用認証システム）等を介して容易にインターネットに接続できる環境と、学生用のPC及びeラーニング、電子図書館、図書館ポータルなどのシステムを提供し、日常的に活用されている。特に、eラーニングは、eラーニングスタジオを設置して、整備充実を行っている。また、情報セキュリティポリシーを定め、情報セキュリティ・情報リテラシーについての啓発を行い、暗号化や認証手続きの厳密化により不正侵入対策等のセキュリティ管理を行っている。これらのことから、大学において編成された教育課程の遂行に必要なICT環境が整備され、有効に活用されている。

観点 8-1-③： 施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、大学の構成員（教職員及び学生）に周知されているか。

【観点到に係る状況】

教職員及び学生の教育研究・福利厚生等に必要な施設である附属図書館、総合情報基盤センター、保健管理センター、大学会館、体育施設、研修所等の設置目的及び管理運営を各規則等で明確に規定し、規則集ウェブサイト（参照資料 8-1-③-ア）で公開・周知している。また、各施設の目的や利用方法を掲載した「学生便覧」（別添資料 8-1-③-1）や利用案内冊子（別添資料 8-1-③-2～4）を学生に配布し、新入生ガイダンスにおいて周知するとともに、各施設のウェブサイトや学生センターのウェブサイト（参照資料 8-1-③-イ～オ）により各利用案内を大学構成員に発信し、周知している。また、平成 19 年度に「エコアクション 2 1」の認証を受け、キャンパス内の全ての施設・設備の運用にも係わる「佐賀大学環境方針」を定め（資料 8-1-③-A）、省エネルギー、安全衛生などの環境マネジメントの取組を全学的に推進している（参照資料 8-1-③-カ）。

資料 8-1-③-A： エコアクション 2 1 「佐賀大学環境方針」

佐賀大学環境方針	
基本理念	佐賀大学は、自然と調和のとれた営みを続けるための「知」の継承と創造を担い、教育と研究を通して地域及び社会に貢献する。
行動指針	<ol style="list-style-type: none"> 1) 地球環境の保全・改善のための教育を行い、環境に配慮できる人材を育成する。 2) 地球環境の保全・改善のための研究開発に努める。 3) 地球環境保全のため、グリーン購入の推進、エネルギー使用量及び廃棄物発生削減、資源リサイクルなどに努める。 4) 地域との連携のもとに自然環境保全に努める。 5) 教育研究などあらゆる活動において、環境に関連する法律、規制、協定及び学内規程等を遵守する。 6) 環境マネジメントシステムを確立し、すべての教職員、学生の参画のもと、これを継続的に運用して改善を図る。 7) 環境の視点を予算編成方針に反映させる。 8) あらゆる人に環境報告書を公開し、地球環境の保全・改善に対する取組の協力と理解を求める。

(出典：エコアクション 2 1 取得 ウェブページ (http://www.saga-u.ac.jp/eco_action.html))

別添資料 8-1-③-1：学生便覧 55～82 ページ (参考：http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/h21_Binran.pdf)

別添資料 8-1-③-2：入学者向け PC 端末の利用案内

別添資料 8-1-③-3：佐賀大学キャンパス情報ネットワーク利用案内

別添資料 8-1-③-4：佐賀大学附属図書館情報誌「さらり」

参照資料 8-1-③-ア：国立大学法人佐賀大学規則集 (<http://www.saga-u.ac.jp/houmu/kisoku/kisoku.htm>)

参照資料 8-1-③-イ：附属図書館 ウェブサイト (<http://www.lib.saga-u.ac.jp/>)

参照資料 8-1-③-ウ：総合情報基盤センター利用案内 ウェブサイト (<http://www.cc.saga-u.ac.jp/use/beginnersguide.php>)

参照資料 8-1-③-エ：保健管理センター ウェブサイト (<http://www.suhcc.saga-u.ac.jp/>)

保健管理センター鍋島分室 ウェブサイト (<http://www.hoken.med.saga-u.ac.jp/>)

参照資料 8-1-③-オ：学生センター施設利用 ウェブページ (<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/siseturiyou.html>)

参照資料 8-1-③-カ：平成 19 年度環境報告書 (<http://www.esh.saga-u.ac.jp/houkokusyo19.pdf>)

【分析結果とその根拠理由】

教育研究・福利厚生等に必要な施設の目的や運用方針を各関係規則で規定し、利用案内とともにウェブサイト、冊子及びガイダンスなどで、学生や教職員に周知している。また、「エコアクション 21」の認証を受け、「佐賀大学環境方針」に基づいて、省エネルギー、安全衛生など施設・設備の運用を含めた環境マネジメントの取組を全学的に推進している。これらのことから、施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、大学の構成員に周知されている。

観点 8-2-①： 図書館が整備され、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。

【観点に係る状況】

附属図書館の施設は、本庄キャンパス本館 (5,332 m²) 及び鍋島キャンパス医学分館 (1,769 m²) で構成しており、総面積 7,433 m² を有している。館内は、閲覧スペース、書架スペース、一般・集密・貴重書庫スペース等から成り、閲覧個室、グループ学習室、及び L L 室など目的に応じた利用環境を提供している。設備・備品として、自動入退館システム、図書自動貸出返却装置、利用者用 PC 等を備え、閲覧座席数は本館 573 席、医学分館 136 席の合計 709 席である。利用時間は、貸出等の業務は開館カレンダー (**資料 8-2-①-A**) のとおりであるが、閲覧・学習等の入館利用は、本館では教職員を対象に、医学分館では学生・教職員を対象に、24 時間可能である (別添資料 8-2-①-1、別添資料 8-1-③-4 【前掲】、参照資料 8-2-①-ア)。

蔵書数は図書が約 709,000 冊、雑誌が約 11,000 種で、各教育研究分野の図書 (視聴覚資料を含む)、国内外の学術雑誌、大学論文集、紀要等を系統的・機能的に整理している (参照資料 8-2-①-イ)。また、図書、学術雑誌、電子ジャーナル等の資料を包含した蔵書データベースを維持管理し、所蔵・配置等の最新情報をウェブ上で公開している。この他、15 種類の文献データベースを導入し、教育・研究活動における情報収集に供している (別添資料 8-2-①-ウ)。

教育研究用図書・雑誌の整備については、専門委員会 (参照資料 8-2-①-エ) を置いて蔵書整備計画に基づく収集を進めるなど、計画的な整備体制を整えている。シラバスに掲載された参考図書及び教員等により推薦された図書についても、計画的・系統的に収集している。さらに、学生に対するオリエンテーション等において希望図書のリクエスト制度の周知を図るとともに、学生を公募して選出した学生選書委員会による選書ツアー等の活動を通して、蔵書構築及び図書館サービスに学生の意見を取り入れている (参照資料 8-2-①-オ〜カ)。

電子ジャーナルについては学内アンケートや利用調査等を踏まえ、整備方針(別添資料8-2-①-2)に基づいて整備を行っており、約5,600種の電子ジャーナルへのアクセスが可能である。

これらの利用実績としては、年間で本館と医学分館併せて500,000人以上が入館し、約34,000冊の館外貸し出しがある。電子ジャーナルの年間のアクセス件数は129,000件を超えている。

資料8-2-①-A： 附属図書館の開館カレンダー

本 館				
学 期	曜 日	時 間	備 考	
授業期	月～金曜日	9:00 ～ 20:00	(休館日) 開学記念日 夏季一斉休業日 年末年始 毎月第4木曜日 (7月を除く。) 試験期： 前・後学期定期試験開始日の1週間前から前・後学期定期試験最終日まで。	
	土曜日	10:00 ～ 19:00		
	日曜日・祝日	10:00 ～ 19:00		
試験期	月～金曜日	9:00 ～ 21:00		
	土曜日	10:00 ～ 19:00		
	日曜日・祝日	10:00 ～ 19:00		
休業期	月～金曜日	9:00 ～ 20:00		
	土曜日	10:00 ～ 19:00		
	日曜日・祝日	10:00 ～ 19:00		

医学分館				
学 期	曜 日	有人開館	無人開館	備 考
授業期	月～木曜日	9:00 ～ 21:00	21:00 ～ 翌日 9:00	(休館日) 国民の祝日 年末年始 国民の祝日等休館日の前日は、 有人開館終了後の無人開館は行 いません。
	金曜日	9:00 ～ 21:00	21:00 ～ 翌日 10:30	
	土・日曜日	10:30 ～ 18:30	閉館	
休業期	月～木曜日	9:00 ～ 17:15	17:15 ～ 翌日 9:00	
	金曜日	9:00 ～ 17:15	閉館	
	土・日曜日	閉館	閉館	

(出典：佐賀大学附属図書館利用規程 別表(第5条関係) (<http://www.saga-u.ac.jp/houmu/kisoku/tosyo/ritokitei.htm>))

別添資料8-2-①-1：図書館利用のしおり

別添資料8-2-①-2：電子ジャーナル整備方針

参照資料8-2-①-ア：附属図書館 ウェブサイト (<http://www.lib.saga-u.ac.jp/>)

附属図書館内案内図 ウェブページ (<http://www.lib.saga-u.ac.jp/service/annai.html>)

参照資料8-2-①-イ：大学概要(附属図書館) ウェブページ (<http://www.saga-u.ac.jp/gaiyo1/g11.pdf>)

参照資料8-2-①-ウ：学内のみで利用できるデータベース ウェブサイト (<http://www.lib.saga-u.ac.jp/kensaku/DB.php>)

【学内限定：訪問調査時に開示】

参照資料8-2-①-エ：附属図書館運営委員会規程 (<http://www.saga-u.ac.jp/houmu/kisoku/tosyo/tosyounei.htm>)

参照資料8-2-①-オ：佐賀大学附属図書館選書専門委員会要項

(http://www.lib.saga-u.ac.jp/document/lib/lib_kitei/k_sensho.pdf)

参照資料8-2-①-カ：学生選書 ウェブページ (<http://www.lib.saga-u.ac.jp/events/sensho.html>)

【分析結果とその根拠理由】

本庄キャンパス本館と鍋島キャンパス医学分館を整備しており、上記のように、各キャンパスにおける教育研究組織・教育課程に即した図書資料等を所蔵し、系統的・機能的に配架するとともに、約5,600種の電子ジャーナル及び蔵書データベース、文献データベース等の提供を行っている。閲覧スペースに加えて、学習室や利用者用PC等を備え、自動入退館システムによる24時間利用を可能にしており、学習環境に対する利便性を高めている。特徴ある取組として、学生選書委員による選書も実施しており、参加した学生からも好評を得ている。これらのことから、図書館が整備され、必要な図書資料等が系統的に収集、整理、提供されており、有効に活用されている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

- 情報基幹ネットワークを全学に整備し、独自開発の「Opengate」システム等を介して容易に学内ネットワークに接続できる環境が整備されており、eラーニングスタジオを中心としたeラーニングシステムの充実など、先進的ICT環境が継続的に整備され、活用されている。
- 平成19年度に「エコアクション21」の認証を受け、「佐賀大学環境方針」に基づいて、施設・設備の運用を含めた環境マネジメントの取組を全学的に推進している。
- 附属図書館では、学生希望図書のリクエスト制度や学生選書委員会による選書ツアー等の取組を通して、学生の意見を反映した蔵書が整備されており、学生からも好評を得ている。

【改善を要する点】

- 施設・設備の改修を進めているものの、老朽化が進み、対策が必要な箇所が残っており、さらに改修整備を継続していく必要がある。

(3) 基準8の自己評価の概要

本庄と鍋島の2キャンパスからなり、大学設置基準の規定を上回る校地及び校舎面積を備え、両キャンパスにおいて、教育研究を遂行する上で必要な施設を設置し、施設・設備計画に沿って整備を進め、有効に活用している。また、キャンパス・ユニバーサルデザイン計画の方針に沿って、計画的に施設の改修整備を進めており、バリアフリー化への配慮をしている。

ICT環境については、情報基幹ネットワークを全学に整備しており、教職員・学生向けに無線LAN局や情報コンセントを教室・自習スペースに設置し、独自開発の「Opengate」システム等を介して容易に学内ネットワークに接続できる環境と、学生用のPC、eラーニングシステム、電子図書館及び図書館ポータルなどを提供し、活用されている。特に、eラーニングは、eラーニングスタジオを設置して、整備充実を行っている。また、情報セキュリティポリシーを定め、セキュリティ管理を行っている。

教育研究・福利厚生等に必要な施設・設備についての運用方針を明確に規定しており、ウェブサイト、冊子及びガイダンスなどで構成員に周知している。また、「エコアクション21」の認証を受け、「佐賀大学環境方針」に基づいて、施設・設備の運用を含めた環境マネジメントの取組を全学的に推進している。

附属図書館本館と医学分館を整備し、教育研究組織・教育課程に即した図書資料等を所蔵し、系統的・機能的に配架するとともに、約5,600種の電子ジャーナル及び蔵書データベース、文献データベース等の提供を行っている。また、閲覧スペースに加えて、学習室や利用者用PC等を備え、自動入退館システムによる24時間利用を可能にしており、学習環境に対する利便性を高めている。図書の新書整備に当たっては、学生選書委員による選書を実施しており、参加した学生からも好評を得ている。